

三重県伊賀市エリアで、空き家を活用したワーケーション施設の利用者と交流人口を増やすことを目的に、ワーケーション施設ならびに、農業を通じたウェルビーイングプログラムの開発を行った。ワーケーション環境の整備と、ウェルビーイングプログラムの構築を完了した。

■ 事業概要

事業部門	3)ポストコロナ時代を見据えて顕在化した新たなニーズに対応した総合的・特徴的な取組を行う事業
事業地域	三重県伊賀市
背景	これまで三重県伊賀市にて苺の生産から卸売・販売までを一気通貫で行う事業を展開する傍ら、精神疾患や各種依存症などさまざまな生きづらさを抱えた人に対し、農業を通じて心身の回復・成長を促し、農作業における就労支援をすることで、当人の社会復帰支援活動を続けてきた。
課題	全国各地の農業の盛んな地域における空き家問題、地域衰退、人手不足
目的	空き家を活用したワーケーション施設の利用者と、当該エリアの交流人口を増やし、長期的には関係人口の増加、空き家利活用(移住・二拠点生活)を促進する
連携する団体・役割	クジラ株式会社(空き家調査・ワーケーション施設の企画設計) 株式会社YeeY(ウェルビーイングプログラムの開発・オンラインイベントの実施)



ワーケーション施設の開発

玄関



改修前

作業スペース



寝室



改修後



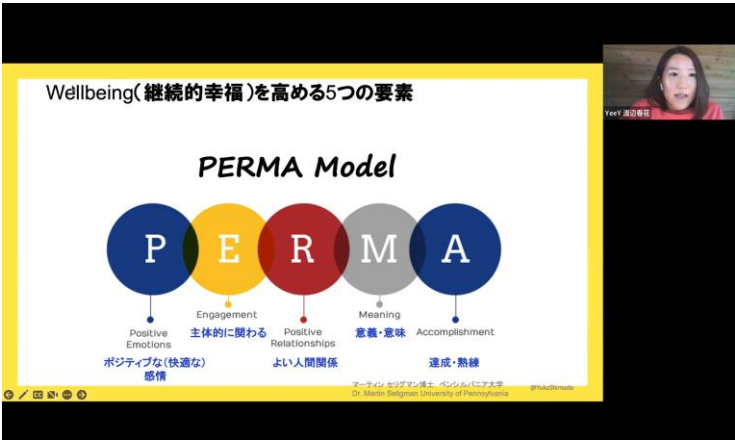
オンラインイベント

ウェルビーイングに対する関心を喚起し、理解を深めるオンラインイベントを実施。

【概要】

- ・ウェルビーイングとは
- ・幸せと仕事の関係
- ・ウェルビーイング×ワーケーションの取組

成果物としてアーカイブ動画をWeb上で公開予定。
今後、ウェルビーイングプログラム参加者の事前資料として活用する。



ウェルビーイングプログラム開発

PERMAモデルに基づく、ウェルビーイングプログラムを開発。
プログラム内容に沿ったテストイベントを実施した。

テストイベントの結果として、ウェルビーイングに対する関心が
想定よりも高いと感じた。
また、プログラムの実施が農繁期と重なるとオペレーションの難
易度が上がるので、農繁期前に実施→収穫期に成果としての
苺を送るような流れがスムーズと思われる。

▼プログラム資料(一部抜粋)

構成要素	日本語解説	プログラムで獲得する体感
Positive Emotions	喜び・平安・希望・畏怖などの感情を持つ、感じる	農作業で汗を流す、雄大な自然への畏敬の念を抱く
Engagement	活動や世界そのものに深くかかわる	適切な難易度の未経験の作業に深く集中する
Positive Relationship	愛情・サポート・理解のある人間関係の中にいる	一緒に作業に取り組む仲間と協力し信頼関係を築く
Meaning	自分より大きな何かに奉仕するという感覚を持つ	福祉連携、気候変動対策など中長期のビジョンに触れる
Accomplishment	熟練・遂行能力をもっていう感覚を持つ	作業進捗を目の当たりにする / 最終成果物に触れる

・ DAY1 (14:00 - 18:00)

時間	プログラム
- 14:00	農園集合、PERMAの測定（※希望者は前入りしてWork可能です。）
14:00 - 15:00	農園全体案内 / 農福連携や気候変動に関する研究の紹介（P/M）
15:00 - 17:30	農作業（P/E/R）
17:30 - 18:00	作業振り返り、PERMAの測定
18:00 -	自由時間。希望者は温泉・食事に案内。希望者はWork可能です。（R）



課題と今後の取組

